

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和4年7月25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 広島県福山市曙町1-13-15	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 エフピコ 代表取締役 社長 安田 和弘
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	エフピコ環境中・長期計画エコアクション2.0 (FPEA2.0)
適 用 範 囲	エフピコ及びエフピコグループ
導 入 年 月 日	2022年3月1日
認 証 番 号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし
基 本 方 針	【環境方針】 エフピコHP参照 <a href="https://www.fpcoco.jp/esg/environmenteffort.html">https://www.fpcoco.jp/esg/environmenteffort.html</a>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	【エフピコグループの長期目標】 エフピコHP参照 <a href="https://www.fpcoco.jp/esg/environmenteffort/ecoaction50.html">https://www.fpcoco.jp/esg/environmenteffort/ecoaction50.html</a> ■事業活動全体におけるCO2排出量（Scope1.2）を、2031年3月期までに2020年3月期比31%削減します。 ■事業活動全体におけるCO2排出量（Scope1.2）の実質ゼロを2050年度までに目指します。
目標を達成するための取組の内容	【各部門2020年度までの目標】 ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレー、エコAPETの販売拡大 etc
目標を達成するための取組の進捗状況	長期目標に向かって ・2021年3月より関東八千代工場エリアで太陽光発電を開始。これにより、同敷地内の関東リサイクル工場で使用する電力の全量を調達可能になりました。また、2023年3月期には 中部エリア及び関西エリアでも太陽光発電の実施を展開予定。 ・2022年7月より東京本社の使用電力を再エネ導入100%で調達開始。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	○CO2削減について 2031年3月期に31%削減（2020年3月期比）目標達成に向け年率2.8%の削減を目指しており、2022年3月期は前年比7%削減し、SCOPE1.2排出量は 226,296t-CO2となりました。 また、太陽光発電設備の導入により 290t-co2削減ができました。目標はおおむね達成している。引き続きCO2削減を目指す。
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場にてチェック及び評価を実施。各事業所（近畿亀岡工場も同様）とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。企業合併による新規のグループ会社に対してのマネジメントシステム導入についても随時実施している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。